

長岡技術科学大学への出張報告

報告者	松井 春美	報告日時	令和5年3月14日(火)
実施場所	長岡技術科学大学	実施日時	令和5年3月10日(金)
参加職員数	1名		

・報告

昨年度に引き続き、本校も実施機関として協力している「先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）」の一環で長岡技術科学大学に伺い、電子顕微鏡を担当する技術職員と情報交換を行うとともに、来年度に向けた研究打ち合わせを行ってきました。今回は本校にない透過型電子顕微鏡を使用し、事前に送付させていただいた包埋試料の観察とともに、マイクロトームによる超薄切片作製を体験しました。

・詳細

事前に本校で作製した微生物包埋試料を送付し、透過型電子顕微鏡（TEM）観察できる状態にさせていただきました。当日はTEM（Hitachi HT7700）で観察を行い、普段使用している走査型電子顕微鏡（SEM）との操作性の違いを実感することができました。またTEMで観察する際には試料の超薄切片を作製する必要がありますが、ウルトラマイクロトーム（Leica EM UC7）を用いた切削も体験しました。初めてのTEM用試料作製をしましたが、実際にマイクロトームを使った切片作製までを体験することで、問題点が見えてきました。今回の反省点を踏まえ、今後のTEM遠隔観察に繋げて行っていこうと思います。